いつまでも元気で

9月15日は『敬老の日』

9月15日は「敬老の日」。また、この日から1週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。

70歳以上は 市内で8,395人

市・社会福祉協議会・町内会連合会・連合婦人会は、今年も各地区で婦人会が中心となり、それぞれ趣向をこらした敬老会を開きます。

敬老会は、9月8日の元吉原地区を皮切りに行われ、88歳（米寿）に肖像画と祝金、90歳代に毛布シーツと祝金などが贈られます。

ことし敬老会に招待する人は、明治42年9月15日までに生まれた70歳以上の人で、市内に8,395人、うち男3,510人、女4,885人おります。

年代別にみますと

70歳代6,477人（男2,875人、女3,602人）
80歳代1,767人（男　596人、女1,171人）
90歳代　150人（男　39人、女　111人）
100歳代　1人（　女　1人）

となっています。

市内の最高齢者は、昨年同様市内岩本17番地に住む小林つねさん（世帯主、小林常蔵さん）で、明治11年10月20日生まれの100歳です。

金婚式（50年）を迎えられるご夫妻は、吉原3丁目2－22　遠藤忠三郎（73歳）さん、婦美子（70歳）さんご夫婦ほか150組です。

今年、敬老会に参加される人にインタビューしてみました。

鈴木孝一郎さん
（80歳）
上和田町

―健康の秘けつは

早寝、早起きですね。食べ物は野菜が好きです。

―現在、どんなことを

上和田町老人クラブ寿会の会長をしているので、神社の清掃や会合に。畑仕事にもよく出かけます。

―若いころの思い出は

25歳のとき、青年団と消防の運動会の最中に、関東大震災にあったこと。

―若い人たちに一言

物をもっと大切にしてほしいですね。

涌田世志子さん
（71歳）
江尾一丁目

―敬老会に出席しますか…

去年から敬老会に出席させていただき、今年も主人と出席します。

―参加したときの印象は？

婦人会や地元の人たちが、本当によく協力してくださいました。

―現在の楽しみは…

詩吟と短歌を始めて、10年余になりますが、適当に大きな声を出したり、頭を使うことは楽しいです。

もう一つは、女学校時代の同窓会で友だちとあうことです。

省資源・省エネルギーチェックポイント集 ⑥

あなたは毎日こんなムダをしていませんか？

風　呂

●お湯を沸かしすぎていませんか

風呂は、沸かしかた次第で燃料の使用量が違ってきます。

お湯を42℃に沸かすのに、消費燃料は、石油に換算すると牛乳ビン5本分に相当します。

お湯を2℃沸かしすぎると牛乳ビン約半分のムダとなります。

●中ブタを入れると早く沸きます

お湯を沸かすときは、あらかじめ沸き上り時間の目安をつけて、沸き過ぎを防ぐのはもちろん、途中でフタを開けないことも効率を下げないコツの一つです。

外ブタのほかにビニールマットなどを入れて、中ブタにすると沸き方も早くなります。

●間をおかずに続けて入浴

沸きあがったら、間をおかずにつづけてみんなが入るようにしましょう。

木製の浴槽で、冬は1時間に約2℃も温度が下がります。

冬は沸き上がりの時間が、夏の2倍もかかります。